

低コストかつ高効率な電力変換を 実現する三相AC-DCコンバータ

神戸大学 大学院海事科学研究科マリンエンジニアリング講座 准教授 三島 智和

2019年8月1日



従来技術とその問題点

既実用化されている技術

- ①三相PWM整流回路+高周波絶縁DC-DCコンバータの2段構造→【問題点:複雑化した電力制御プロセス、センサ設置数増、モジュール化に非対応、大容量直流コンデンサ要】
- ②三相ダイオード整流+力率改善(PFC)回路+ 高周波絶縁DC-DCコンバータ→【問題点:部品 点数大によるコスト増、大型化、制御複雑化】



新技術の特徴・従来技術との比較

- ・従来技術の問題点であった、「部品数増・メンテナンス性・制御複雑性」を改良することに成功した。
- 本技術の適用により、使用する半導体素子数が約40%削減できるため、20%~30%程度のコスト削減されることが期待される。
- 大容量平滑コンデンサ不要(ケミコンレス)であり、装置の薄型化(30%以上)、軽量化、メンテナンスフリーを実現する。

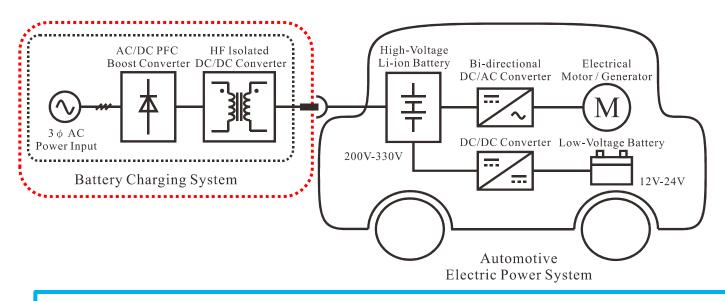


バッテリ急速充電装置

大容量電力貯蔵バッテリへの電力供給(充電)として



三相整流回路/高周波絶縁形DC-DCコンバータ

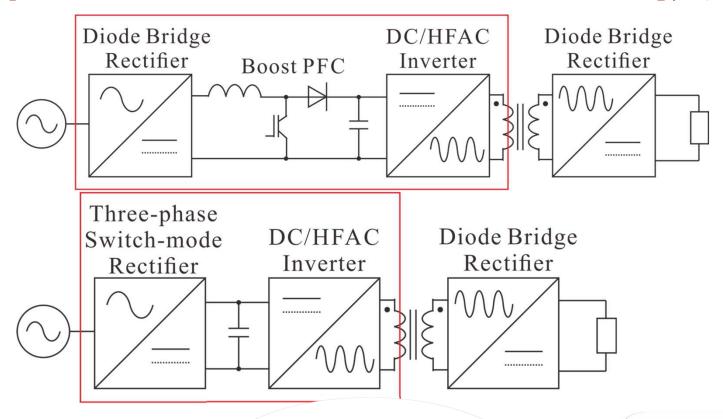




高性能, 高効率な三相DC-DCコンバータが求められる



従来のAC-DCコンバータ技術

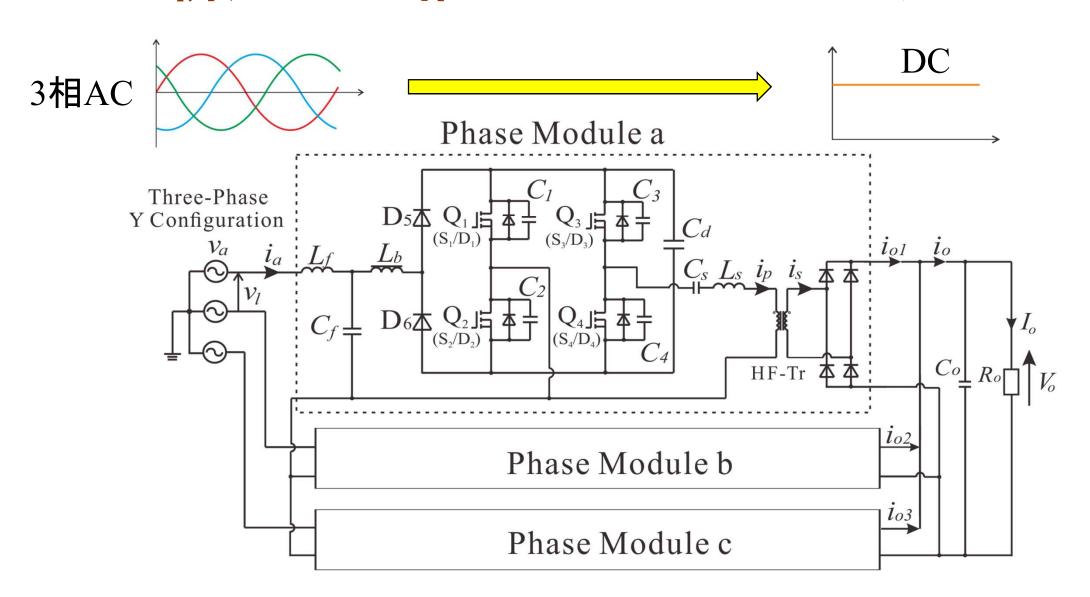


電源一高周波トランス1次 側が複数段かつ 中間直流リンク 高効率サイズダウンメンテナンスフリ

- •1段電力変換
- 三相AC-DC変換部を モジュールした構造
- 大容量コンデンサ不要

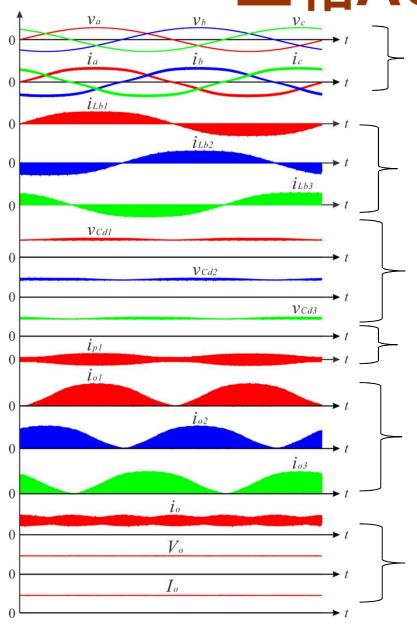


新方式三相AC-DCコンバータ





三相AC-DC変換原理



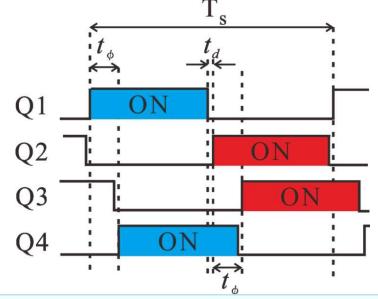
- 三相交流電流
 - **⇒ 力率改善(PFC)**
- 三相交流電流
 - ⇒ 電流不連続動作(DCM)
- 中間リンク電圧
- ⇒ ケミコンレスながら平滑可能
- 2倍周波交流+高周波電流(周波数変換)
- ⇒ ケミコンレス
- 2倍周波交流+直流電流
- ⇒各相周波数変換の実現
- 6倍周波交流+直流電圧・電流
- ⇒ スイッチモード三相整流回路の実現



三相AC-DC変換原理

位相シフトパルス幅変調制御

基準相スイッチQ1, Q2に対して制御相スイッチQ3, Q4の位相変調電源極性に関係なく、パルスパターンを制御可能(電圧センサレス)



Q1 Q5 Q9

 $\phi = 240^{\circ}$

 $\phi = 120^{\circ}$

Q₁,Q₂: 基準相スイッチ

Q3,Q4: 制御相スイッチ

T_s: スイッチング1周期

 t_{ω} : 位相シフト時間

 t_d : デットタイム

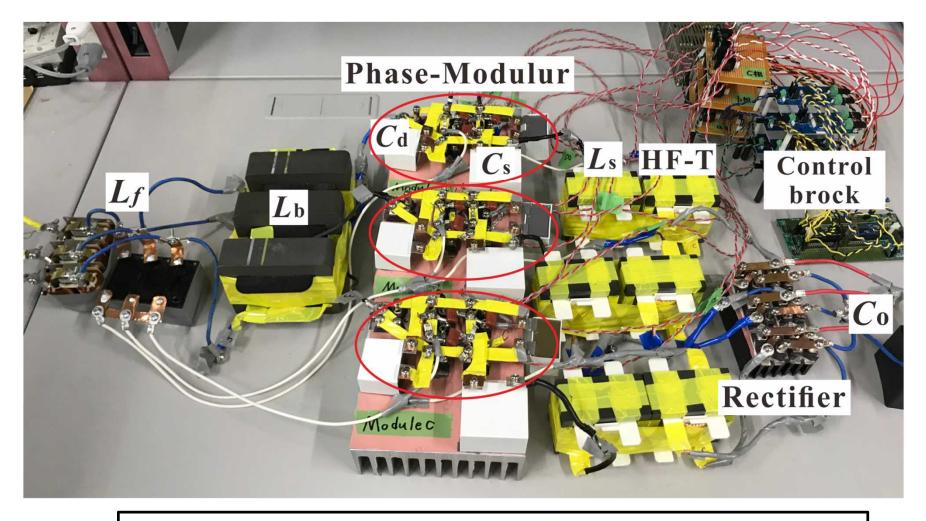
各相モジュールで120°位相差制御



整流器合成電流での交流脈脈動を軽減



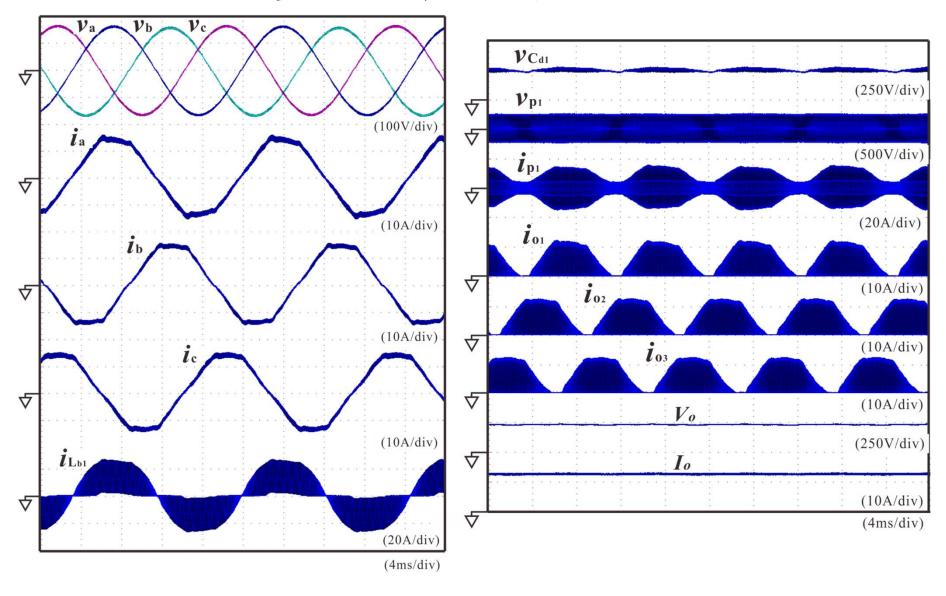
試作器外観



3kW-20kHz シングルステージ三相AC-DCコンバータ

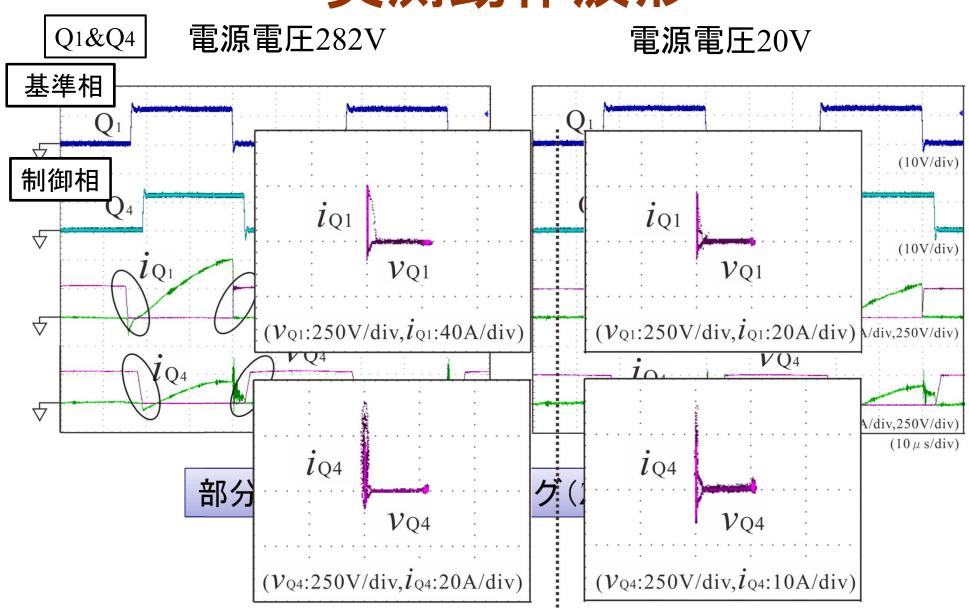


実測動作波形



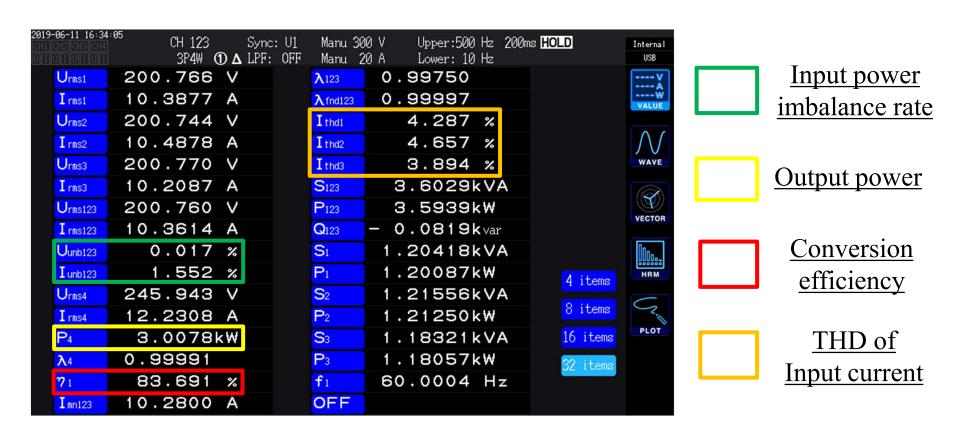


実測動作波形





パワーアナライザ実測



(HIOKI POWER ANALYZER PW6001)



想定される用途

- 本技術の特徴を生かすためには、三相商用 周波数電源とインターフェースする直流機器、 特にEV急速給電器に最適である。
- 上記以外に、高周波絶縁を採用した半導体電力変圧器(SST)全般に適用可能である。
- 例えば、洋上風力発電のMV直流給電における高周波絶縁三相整流回路や、データセンターの直流給電システムへの拡張可能である。



実用化に向けた課題

- 現在、出力並列化が可能なところまで開発済み。しかし、高電圧用途で求められる「出力直列化」について未検討である。
- 今後、直流出力直列化について実験データを 取得し、MV直流出力に適用していく場合の条件設定を行っていく。
- 実用化に向けて、電力変換効率を95%程度 まで向上できるよう技術を確立する必要もあり。



企業への期待

- 未解決の「高電力密度化」については、磁気 結合技術により克服できると考えている。
- 車載用電源技術を持つ、企業との共同研究を 希望。
- ・また、洋上風力発電を開発中の企業や鉄道 車両用電源、再生可能エネルギー分野への 展開を考えている企業には、本技術の導入が 有効と思われる。



本技術に関する知的財産権

発明の名称:三相AC-DCコンバータ

• 出願番号 : 特願2018-53881

• 出願人 : 神戸大学

• 発明者 :三島 智和



お問い合わせ先

神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部 担当コーディネーター 山中 貢 (ヤマナカ ミツグ)

TEL 078-803-5975

FAX 078-803-5947

e-mail oacis-sangaku@edu.kobe-u.ac.jp

URL http://www.innov.kobe-u.ac.jp